

第68号 / 平成31年1月1日発行

発行者 / 京北商工会 (広報委員会)

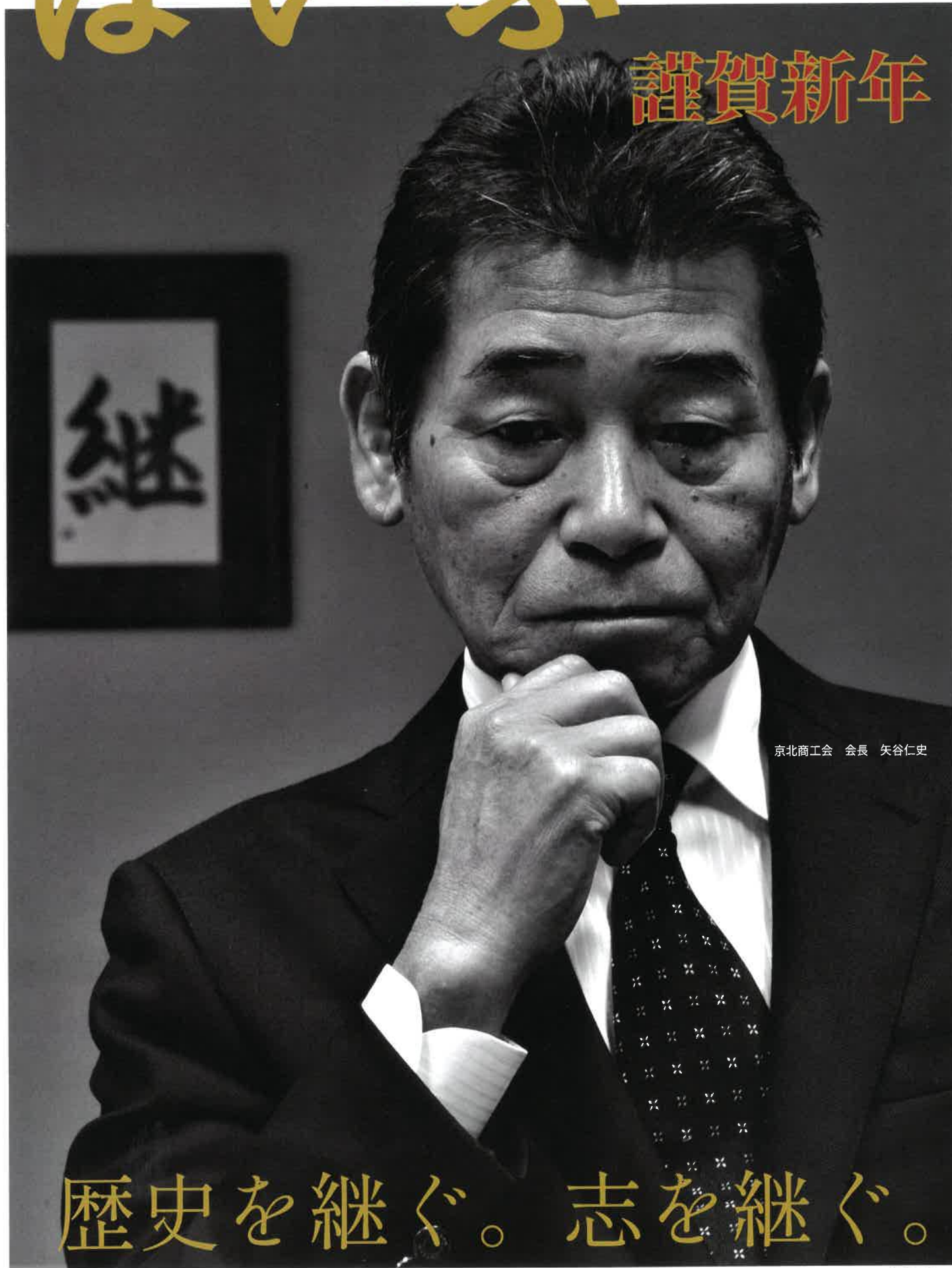
〒601-0251 京都市右京区京北周山町

TEL 075-852-0348

FAX 075-852-1173

ぱいぷ

謹賀新年



京北商工会 会長 矢谷仁史

歴史を継ぐ。志を継ぐ。

写真 / 東昇平

女性部だより

新年あけましておめでとうございます。

四度目の皆様へのご挨拶と事業報告をさせていただきます。

昨年は自然災害に悩まされた年でした。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

役員をはじめその他女性部員の智恵と労力と時間をお借りしてこの四年間部長としてやってこられて感謝しかございません。

これからの京北商工会女性部の発展を願い続けていきます。

京北商工会女性部部长 渡邊 多津子



青年部だより

新年明けましておめでとうございます。昨年は極寒に始まり、豪雨に台風と災害に泣かされた一年でした。

今もなお屋根にシートのかかった家屋が多数あり被害の大きさを物語っています。我々、京北商工会青年部は昨年度より地元であり私の母校でもある北桑田高校でアントレプレナーシップ授業を行っております。先日の授業では生徒を経営者と会社員に班分けをし、ディベートを行いそれぞれの立場での意見を出し合ったり、両者のお金に関するリスクとリターンのお話をすることで仕事に対する考えを深めました。その授業は青年部のメンバーにとっても生徒の柔軟な意見を聞き、自社を見直す良いきっかけになっています。京北町時代のリーダーズカレッジで教わった『まちづくりは人づくりから』のもと人材育成に未来を見出し、島国根性を捨ててグローバルな視点で物事を考える人材をより多く育て、この地域をより楽しく生きられる地域にしていきたいと思っております。

京北商工会青年部 部長 東 昇平



「芦見芸術の森フェスティバル」に
北山杉の森カフェ出店



「ふるさとまつり」
新ユニフォームをつくりました。
好天に恵まれ繁盛!!



「ショップカード作成」各々の事業所のPRを
兼ねた名刺サイズのカードです。9件の事業所の応募がありました。

「視察研修」午前には真珠で有名な「TAKASAKI 神戸本店見学」
「神戸迎賓館にてフレンチランチ」をいただきました。
午後は須磨寺にて見学、三法琴の演奏を聴き、体験もしました。



その他の主な事業

- 介護施設「しゅうざん」カットボランティア
- 京女連ウォークラリー
- グランドゴルフチャリティ交流会
- 商工会女性部近畿大会
- 商工会女性部全国大会



- ＜青年部 年間の主な事業＞
- 6月…◆全国統一事業「絆」感謝運動
(チャリティゴルフ)
 - ◆青年部中部ブロック交流研修会
 - ◆青年部主張発表中部ブロック大会
 - 7月…◆カプトムシドーム 2018
 - 11月…◆京北ふるさとまつり出店
 - ◆青年部全国大会 in 広島
 - 通年…◆青年部経営成長部会
 - ◆北桑田高校アントレプレナーシップ事業(授業)

今年で13回目となる毎年恒例となりました森のカプトムシドーム。「命の大切さ」をテーマに開催予定でしたが、残念ながら台風12号の影響で準備ができず、開催を中止しました。しかし、京北地域の方のみならず、楽しみにしていた方々に少しでも喜んでもらおうとカプトムシの無料配布を実施いたしました。

朝方まで雨は降りましたが50名程度に参加いただき、館のつかみ取りや、移住促進の冊子の配布、青年部が作成したカプトムシの育て方の冊子と一緒に読んで理解を深めてもらいました。開催できずに残念でしたが、来ていただいた方に喜んでいただけてよかったです。

カプトムシドーム 2018



京北ふるさとまつり



毎年恒例のふるさと祭りは、今年で三回目になる自作のピザ窯と焼きたてピザを販売しました。

昨年の反省点を見直し、ピザ窯は熱を逃さないよう補修し、ピザの種類を人気の二種類にしぼりました。そして新たに、京北産の野菜をピザに取り入れたかったので、ピザを通じて京北の農家を支援出来ないかと考え、京北でベレットを使って野菜の栽培をされている農家の方と協力して販売しました。

結果、目標としていた300枚には届かなかったものの、昨年を上回る240枚が売れ、青年部史上最高額の売上を記録することが出来ました。

来てくださった地域の方々に喜んでもらえて何よりです。



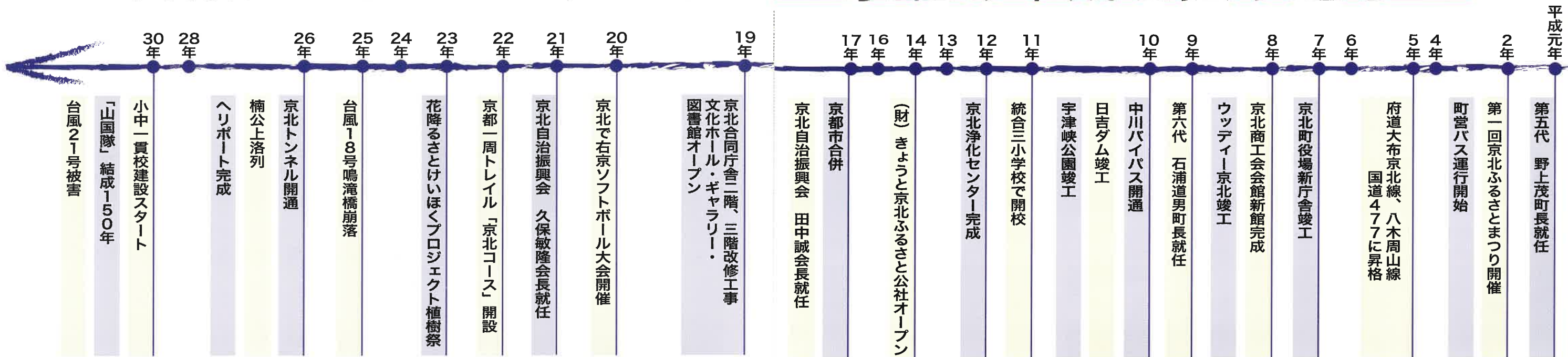
アントレプレナーシップ事業

商工会青年部では二年前から事業の一環として、北桑田高校へアントレプレナーシップ授業(未来の人材育成を通して教育を行うこと)に行かせてもらっています。授業を行うことは緊張と責任を感じプレッシャーと言いますが、この一年を通して青年部員皆が成長していることを実感しています。

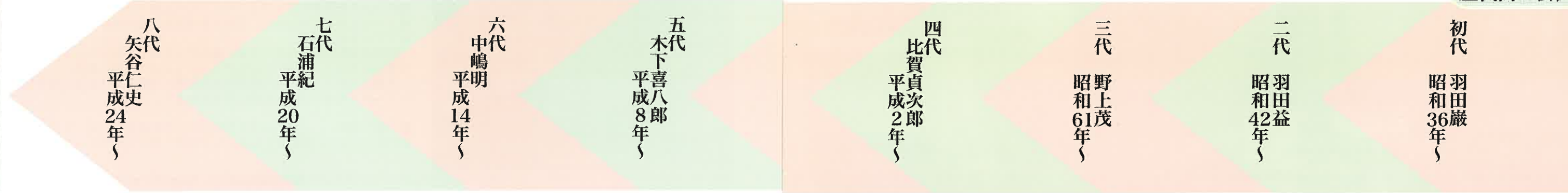
経営者として、京北での先輩として、自分達が失敗してきたことを通して高校生に伝えられるように思っています。まだまだ自分達の成長が必要だと感じますが、その分伸び代があると思いつつ今後高校生と青年部員が、より良い人材へと繋がれるように活動していきます。今後も温かく見守っていただけたら嬉しく思います。

平成からのバトンタッチ

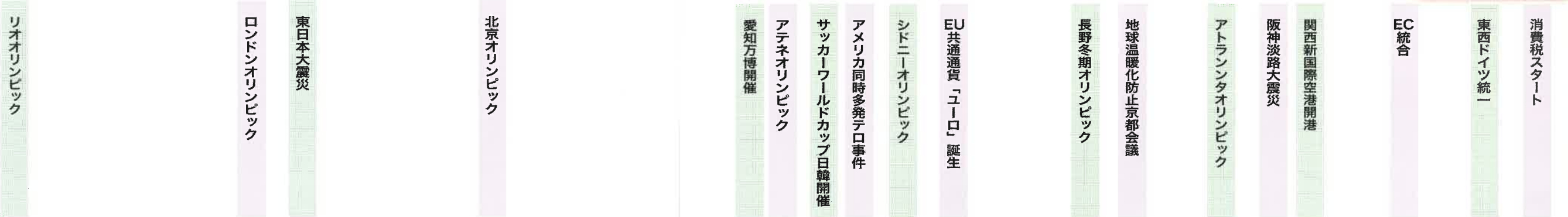
京北の平成を振り返る



歴代商工会長



その他の出来事



平成は30年で締めくくり次の年号へ新たに

『歴史を継ぐ。志を継ぐ。』

事業所訪問



 **村山木工**
KYOTO MURAYAMA MOKKO

京北の工房で新たな伝統を創造する村山木工

釘などの接合道具を使わずに木と木を組み合わせて家具や建具、調度品を作る指物(さしもの)職人として伝統工芸品を製作してきた村山氏。これまでも伊勢神宮第61回式年遷宮の御神宝である「御太刀揃」の生地や熱田神宮の宝物を入れるための「柳笥(やないばこ)」、雅子妃殿下が皇室に上げられる際のお籠道具の製作を手掛けてきた。

その村山氏が近年、大きな空間を組子細工で装飾し、その細やかな職人技術で仕上げられた壮大な作品に、驚嘆の声が上がっている。



大きな空間の中で立体組子を取り入れるには、まず最終的に組み上がった時の強度(安全性)を考えます。しかし過去に例がないものばかりなので、その判断に一番神経を使います。では、どうするかというと、長年の経験による職人の勘です。木質を読み取り、細部の強度を見極めて全体を決定しています。昔の宮大工さんがコンピューターによる解析などない時代に大きな御堂や塔を建立されていたのと同じだと思えます。技術的に難しいことはしていません。昔からある技法を組み合わせたり、応用したりしているだけです。

時間と根気のいる仕事ですが、誰もやったことのないことを、最初にやり遂げられるという気持ちモチベーションになっています。

大勢のスタッフとともに寝食を忘れ作業に没頭して作品は完成するのでとても大きな達成感と充実感に満たされます。

新工房も完成し、ここから見る最高の京北の景色を楽しみ、これからも誰も作ったこと、見たことのないものを作り続けていきたいと思えます。



比賀江町 村山木工 新工房

株式会社村山木工 <http://www.mu-wood.com>



グランドプリンスホテル新高輪 2016年



パリスホテル東京 2011年